

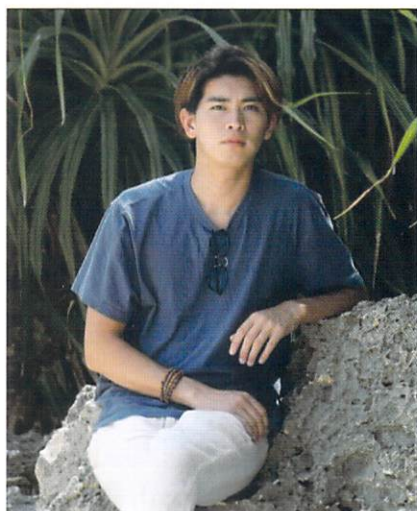
鎌倉 ハートナース



鎌倉市市民活動センター広報紙 第103号 令和4年6月発行（季刊）
発行／編集：鎌倉市市民活動センター <https://npo-kamakura.com/>

こんな市民活動しています！

リレートーク No.22



NAMIMATI
(なみまち)
代表 齋藤克希



スマホでのアクセス
はこちらから

リレートークとは：鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思っています。是非、お知らせください。

学生時代、ニューヨークに行った際に社会問題に対する意識の差に驚き、帰国後に様々なボランティア活動に参加しました。そこで気づいたのは、同世代の参加者がいないこと、これからを担うこの世代が社会問題、環境問題に関心がないのはどうなのか？ということでした。日本にまだ社会問題、環境問題に関心のあるZ世代が輝ける場所がないからではないか…そこでZ世代が輝けるプラットフォームを作ろうと仲間4人で2020年にNAMIMATIを立ち上げました。

これまでNAMIMATIの活動は、主にビーチクリーンなど、学生達の活動参加の機会を作ってきましたが、今年、6月5日（日）に、環境問題に関心の高いZ世代の学生団体だけを集め、初の交流イベントを主催しました。会場の鎌倉芸術館には、全国からなんと150名もの参加者が集まりました。各団体から社会課題解決のプロジェクト発表、お招きした見識者からはフィードフォワードを、そして最後にお互い交流を深め、今後の活動の幅をさらに広げる、というねらい通りのイベントとなりました。

NAMIMATI は、環境問題、社会問題に興味を持っているという共通項で、それに対して同じ熱量で同じベクトルでお互いを高め合いながら取り組める、あたたかいコミュニティです！



ビーチクリーン活動



「ここまでサステイナアクションを起こすZ世代と交流できる機会は初めて！今までにない価値感を得られた」

「イベント内に仕掛けられた五感を刺激する仕掛けに環境問題へのこだわりを感じました」
(参加者の声より)

10代から20代半ばまでのいわゆる「Z世代」交流イベント
「リジェネレーションフェスタ2022」（6月5日開催）

シリーズ「協働」

鎌倉市で「つながる鎌倉エール事業」がはじまった今年、これまで取り組まれた「協働」の好事例をご紹介します。組む相手は行政とは限りません！企業、他のNPO、学校・・・目指せ！新たな協働のカタチ！

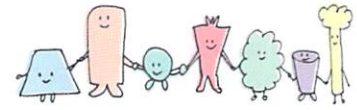
事例「いろんなカタチ新聞」の発行

鎌倉市役所
(発達支援室・教育委員会・障害福祉課 チーム)



「いろんなカタチ鎌倉」

「いろんなカタチ新聞」事業は、新聞を発行することで発達特性に関する情報を広く市民に知ってもらいたいという市民団体側からの提案から始まりました。



いろんなカタチ新聞



当初は、鎌倉市との相互提案協働事業の慣例通り市内の協働先を一つの課に絞るつもりでした。

その後、団体、地域のつながり課、市民活動センターが話し合いを重ねる中で、単に支援を必要とする子どもだけを対象とするのではない本事業の性格から、関連する複数の課が協働して担当いただいた方が良いのではないかということになりました。

そこで、発達支援室、教育委員会、障害福祉課が初めてチームを組んで対応することになりました。

今日の複雑化する社会課題に対応するためには時に従来の組織の枠を超えた柔軟な対応や多様な視点（いろんな見方&味方）が必要です。その意味でこの「いろんなカタチ新聞」事業は新しい協働のスタイルを示した好事例と言えるのではないでしょうか。

シリーズ「町内会」 町内会は「超イイ会！」

地域の組織作りの基盤、町内自治会への加入率が下がる傾向が続く一方で、災害時など地縁のつながりの強化も求められています。そんな中、先駆的な試みに取り組んでいらっしゃる町内会をご紹介します。

台町内会

加入世帯数が減少傾向の中、この春、町内会加入への勧誘パンフレットを作成した台町内会。作成した小野田康成さんにお話を伺いました。

「まさか…町内会に入っていないの？」という時代は終わりました。いまは「町内会に入っていて何かメリットはあるの？」と言われる時代です。そこで「台町内会」では、行政とはまた異なる角度から、地域の課題や問題に地域の皆で対応する、その仲間が「台町内会」なのだということをご理解いただくためのパンフレットを作成しました。台町内会は「あなたの町の頼れる存在」であり続けられるよう頑張っています。



レポート「鎌倉の森へ行こう！展」 (3/22-25)



森のプラットフォームかまくらは、由比ガ浜の「カフェ&ギャラリージャックと豆の木」で写真や映像で日頃の活動を展示するギャラリー展を行いました。鎌倉の街を守る森、身近な森をよく知らない市民に森に興味を持つきっかけを作って欲しい、森での活動を知ってもらいたい、という気持ちが伝わる内容で、期間中は、森の達人たちのトークイベントも開催し、より身近に森体験を楽しんでいただきました。



シリーズ「社会問題」 複雑な現代の社会課題をひもとき、各分野の専門家の方々から解説をしていただくコーナーです。第一回目のテーマは「難民」です。

難民を歓迎できる社会に

■世界の難民は1億人を超えています！

6月20日は「世界難民の日」です。世界の難民・避難民は1億人（2022年5月、UNHCR）を超えています。2月22日のロシア軍によるウクライナ侵攻で、800万人が住む場所を追われ、国外に避難した数は680万人（2022年5月29日時点）を超えています。



アルペなんみんセンター

■難民とは？

難民とは、人種、宗教、国籍、政治的な考えなどを理由に、自国にいと迫害されるおそれがあるため、外国などに逃れた人々です。世界情勢の変化に応じて行われた国連総会などの決議により、故郷を追われた人々をより包括的に保護するために、難民の定義が拡大してきています。内戦や武力紛争などで、自国に帰ると無差別な形で命や自由が脅かされる人々も、国際的な保護を必要とする「難民」とされています。

■日本で難民認定されるのは1%以下です

日本にも毎年1万人を超える難民認定申請があります。残念ながら、認定される難民は、年間数十人です。1981年に難民条約を批准して40年間で認定された難民は、わずか915人。「難民鎖国」と国際社会から非難され続けています。

■日本で唯一の総合的な難民支援センターが鎌倉に

2020年4月、日本で唯一の総合的な難民支援センター「NPO法人アルペなんみんセンター」が鎌倉市十二所に誕生しました。現在まで、16カ国30人を受入れてきました。3人が難民認定、9人が就労可能な在留資格を取得できました。

私たちは、難民のシェルターを運営し、難民の状況を地域の皆様に知っていただくための「なんみんセミナー」も行っています。2021年度は26回開催し、約2500人の参加がありました。今後も、地域の皆様と「難民を歓迎できる社会」を共に模索し、創っていきたいと思います。

NPO法人 アルペなんみんセンター 事務局長
<https://arrupe-refugee.jp/>

有川 憲 三治



2022年5月慈善茶会で



アルペなんみんセンター居住の皆さま

新規登録団体のご紹介（4月～5月）

mama care湘南

女性理学療法士が中心となり、産前産後女性のための健康管理とリフレッシュの場を提供しています。市や助産院からの依頼を受け、ママの健康を守るための講座や育児動作のアドバイスなど行っています。

https://peraichi.com/landing_pages/view/mamacare-shonan/

市場町内会

町内の人々が仲よくより住みやすくをモットーにお祭り、運動会、親子イベントなど実施。2022年3月に公会堂のリニューアルが完了し、新しい集会施設を活用してより多くの人々が町内会活動に参加してくれるようになりました。

補助犬サポート有志の会

身体障害者補助犬法が施行されたものの、補助犬ユーザーが病院・飲食店などの施設で入店拒否され困っています。身体障害者補助犬法を一人でも多くの人に知ってもらいたいと考え、補助犬ユーザーさんの生きにくい世の中を改善していきたいです。

<https://oyabu69.wixsite.com/website>

四季の杜自治会

明るく住みよい四季の杜内にするための環境の保全と美化の促進、防災訓練や地区イベント（市民運動会、祭りなど）の参加、防災倉庫の整備と管理など行っています。

一般社団法人 湘南ロシア倶楽部

鎌倉とロシアのつながりは古く、多くのロシア関係者が湘南地区で活動しています。我々もその流れの中、講演会、かまくら国際交流フェスティバルへの参加などで、日本とロシアの交流を湘南を拠点に進めています。

<https://russiaclub.amebaownd.com/>

ゴミフェス532

鎌倉発、市民発信による身近なゴミについて考え・体験するムーブメントです。「コミュニティの力でごみ問題を楽しく解決」を合言葉に「笑顔が増える、ごみは減る！」をめざし、市民・団体・企業・行政が連携し、多様な人々の多彩な想いを集結し、楽しくごみ問題の解決に取り組んでいます。毎年5月30日（ごみゼロの日）の直近の日曜日に、『フェス』を開催、通年で多様なごみ削減活動『部活』を行っています。

<https://gomifes532.com/>



事務局だより

Wi-Fi が使えます

鎌倉・大船両センターでは利用団体向けにWi-Fi環境を整えています。ちょっとした調べ物などに便利です。Wi-Fiを使っただけのオンライン会議をご予定の方は事前にご連絡をいただけますよう、お願いします。Wi-Fi利用規約をよく読んでご承諾いただいた上、ご利用ください。

令和4年4月から3年間、私ども鎌倉市市民活動センター運営会議はNPOセンターの指定管理者に選定されました。センター長は引き続き西畑直樹（にしはたなおき）、副センター長には4月から新任、菊田豊明（きくたとよあき）が務めます。どうぞ、よろしく申し上げます。

Hot ☁️ ひと安心

憂鬱だった鎌倉センターの女子トイレ便座問題に決着！電源の関係から冷たい便座を強いられておりましたが、3月に蓄電器購入により「夢のあったか便座」が実現となりました。なお、蓄電器は災害時にも役に立ちます。これでHot ひと安心です。

新スタッフの紹介

4月から2名のスタッフが新しく入りました。

木村俊平（きむらしゅんぺい）：団体運営に役立つICTスキルの相談を承ります。趣味は釣り。

中川麻希子（なかがわあきこ）：法人格取得や認定についてご相談ください。趣味はクリスタルボウル演奏です。

どうぞ、よろしく申し上げます。



団体の登録情報の更新＆昨年度の活動報告のお願いを予定しています。詳細はメールでお知らせいたしますので、ご協力をお願いいたします。



「NPO支援 かまくらファンド」募集は8月1日から！審査会は11月3日（木・祝）

NPOセンター鎌倉

〒248-0012

鎌倉市御成町18-10

鎌倉市役所 第2分庁舎

TEL/FAX：0467-60-4555

E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

〒247-0061

鎌倉市台1-2-25

（たまなわ交流センター1階）

TEL/FAX：0467-42-0345

E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

利用登録団体数：331団体

令和4年5月31日現在

※ 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は、速やかにお知らせください。